

やすらぎ

平成22年11月1日
〔第139号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

維持員研修会開催

10月17日(日) 午前10時半より御所事務所にて維持員研修会が開催されました。

柴田英輔講師(西宮)と、体験発表者として船場事務所の倉橋代表世話人に来て頂きました。

吉田代表世話人の開会挨拶の後、30分間倉橋代表世話人の体験発表を聞かせて頂きました。

倉橋氏は今年で代表世話人3年目の68歳。「精神伝統に安心して頂けるように毎日頑張っています。伝統尊重・義務先行・三方よしのこの3つを念頭にあと3年船場事務所を盛りたてて行きたい」と力強く話されました。

引き続き、柴田講師の講義がありました。廣池千英選集(モラロジアンに望む)より、「満ち足りぬ心で」と言う原稿を紹介し、「満ち足りぬ心」とは、自分は不十分で足りないのだという気持ちを常に持ち、反省に反省を重ねて人と接していくと言う心がけが維持員としては大切であると教えて頂きました。

昼食後、13:00から10分間御所事務所の会員でもある奥野信亮さんより最近の政治について話をして頂きました。その後、3つのグループに分かれてディスカッションを行い、午前中の研修会で感じたことについて話し合いました。

柴田講師のまとめの講義は、私たち

は諸伝統のおかげで今日の生活を送ることができている。伝統に対して多大な道徳的負債がある。伝統に感謝し、負債を返済するためには、必ず伝統を尊重し、これに報恩していかなければなりません。すぐに出来ることから実践してください。日々の祈りと報恩の重要性を教えてくださいました。

今回の維持員研修会で改めて私達には道徳的負債があり、その負債を少しずつでも返済して行かなければ真の幸福は得られないのだということ



がよくわかりました。

「真の幸福」を得るためには、(自分自身)精神の根本的改造。利己心から慈悲心への改善が必要であることが理解できました。

予定通り午後3時研修会を終了しましたが、参加者がわずか17人と当事務所の維持員研修会としては大変淋しく、不十分で、もっと積極的にお誘いすべきでした。

研修委員会

セミナー後の講演会レポート

10月21日(木)午後7時より、事務所講堂で「第一回フォローアップセミナー」が開催されました。守口門真モラロジー事務所の伊賀斌彦講師による講演



で、52名の出席を頂きました。

伊賀講師の

話は大変聞きやすく説得力があり、あっという間の2時間でした。多くの事例をあげわかりやすく話していただきましたが、その中で特に印象に残ったのは、昔から日本人は「お互い様」と「お陰さま」という、お互いに支え合って生きるうえでの大切な心や、「恩おくり」という、自分が直接返すことが出来ない場合の恩恵に対して他の人に施すことでその恩に報いる心もあります。私自身多くの人々に支えられていることに感謝して、このような美しい言葉を忘れない生活を送りたいと思います。また、講師が引用した村上筑波大学名誉教授の産経新聞に掲載さ

れた「正論」では、日本の青少年の意識の中に先生を尊敬する、親を尊敬するという意識が余りに低く、世界中でも例をみない低さであることや、他国の青年たちの意識から比較して、かけ離れた自虐的な意識を持っている事実を知り、驚きと同時に情けなさを感じました。

自分のルーツである、国、地域、家庭、先祖などに自虐的な思いを捨て、自分とルーツに誇りと自信を持ち、胸を張って生きたい、子供たちにそのように生きてもらいたい。そのような思いを強く抱きました。地域でも自分の住む町の良いと



ころを大いに話したい、そして誇れる街づくりに参加し

ていきたいと思います。

山下幸則

伊勢神宮お礼参拝

9月28日、セミナーの報告と無事終了のお礼に伊勢神宮に参拝しました。伊勢神宮の正式名称は？先日クイズでやっていました。そう、「神宮」。

9時過ぎに御所を低燃費の車を出発。参加は実に淋しく、実行委員長細川さんと2人。亀山廻りで高速道を利用して、

まず外宮へ。外宮では初めての垣内参拝をしました。

内宮へ回りますが駐車場がいっぱい。やっと1台分のスペースを見つけ、五十鈴川に架かる橋を渡ると、川は昨日の雨のため濁流となっていました。二人で対岸にひるがえる日章旗のサイズを云々し、

結論は6畳間相当に落ち着く。

正宮へ先に参拝し、お誓いしたことが十分果たせなかったことをお詫びしました。続いて神楽殿へ。私ら2人だけのお神楽奉納です。厳肅に神妙に奉納してお伊勢さんを後にしました。

セミナーの事後開発、モラロジー講習会の講師に依頼している松阪市飯南町の田中正人さん宅に寄り、高見峠を越えて帰着しました。

走行距離は300km、使ったガソリンは12.7リッター、1650円。高速代が800円ですので、1人当りの交通料は1225円と格安でした。



米田徳七郎

初めての同行受講

平成22年9月2日(木)
AM9:30 私は、親友の鳳羽電設(株)森村治樹君と二人で岐阜県瑞浪市にある中日本生涯学習センターに向けて車で御所を出発しました。

私は6年前に一度センター講座を受講しましたが、その時は4泊5日の講座だったので今回の3泊4日の講座がどんなものか楽しみに参加させて頂きました。また今回、出講される福岡事務所の野田好秋講師との不思議な縁で親友の森村君が受講することを聞き、私もいい機会だと思い初めての同行受講をさせて頂きました。道中、センター講座の良さや是非講師との面談をするようアドバイスなんかしちゃいましたが、期待と不安の入り混じった旅のはじまりでし



た。

PM1:00 中日本生涯学習センターに到着し、受付を済ませてびっくり!! 私が505号室の部屋長になっていました。私は弱冠40歳。部屋長をする歳ではないと思っていたので、ショックと言うか、責任の重大さを痛感しました。505の部屋に入るのが怖くて躊躇したことを今でも覚えています。意を決し扉を開けると、もうすでに3名の同室者が居られましたが、みんな若い方ばかり。あと一人来られていなかったが、早寝早起きの気の難しい年配の方であったらどうしよう?と不安に思い、若者が来るようにと神様に祈りました。運命の扉が開き顔を覗かせたのが、24歳の兄ちゃん。私は思わず、ヤッター!! と叫んでしまいました。結局、39歳、24歳、24歳、19歳の若者5人で3泊4日を過ごす事になりました。

第7回センター講座は、男性26名女性16名 合計42名のアットホームな講座

となりました。開講式終了後、いきなり講義(各60分)。第1章・2章・レクリエーションと気の休む間もなくスケジュールが組まれ入浴後、部屋懇談(1日の振り返り)。

講義で気付いた事をみんなで話し合う時間が30分設けられていましたが、私たちは議論が白熱し気付いたら午前0時。急いで消灯しましたが、笑いの絶えない505号室でした。

二日目は第3章と第4章を学習しました。今夜の部屋懇談は、他の部屋が寝静まってから親友の森村くんや他の部屋の若いメンバーも参加。服部浩二講師を招き深夜の特別講義。昨晚、話し合った疑問や質問などを講師にぶつけ、忌憚の無

い意見交換で講師との距離がグッと縮まった貴重な時間となりました。モラロジーの良さが少し感じられた二日目でした。

三日目は、第5章と第6章。感想文記入など、あっ！と言う間に最後の夜になってしまいました。最後の部屋懇談は別れるのを惜しんで、深夜遅くまで語り明かしました。

最終日は、第7章と第8章まとめ。感想発表が行われました。感想発表では、505号室から2名の若者が発表者に選ばれ、「今回参加して、皆さんに出会えたことや部屋で遅くまで語り明かしたことが、大変勉強になりました。」と発表してくれました。私も今回初めての部屋長でしたが、させて頂いてよかったなあ!!と思いました。

3泊4日の講座は日程もかなり詰め込み式になっているようで、あっという間に終わったと感じられました。モラロジーの勉強をするなら本部に行くべきですが、人との交流をするなら中日本センターです。今回出会えた「友」を大切にしていきたいと思っています。

初めての同行受講。同級生と楽しく行った同行受講でした(笑)。

細川成樹

歩こう会こうのさんは交野山へ

9月27日(日)朝7:00事務所へ行くと、5名で行くはずが急きよ1名、近所に不幸事があり欠席、4名で出発。

今回は、枚方の交野山(341m)地図をたよりに出発点のくろんど園地をめざすが、入り口がなかなか見つからず、やっと行き着いたのは9:00前、とても大きな園地で、店が並び池にはボートも浮かび、バーベキューも出来、大勢の人

が集まる場所。その中を縦断する。途中めずらしい沼杉に出会った、その木の下辺り一面に落羽松(らくうしょう)という、タケノコ?が群生していた。

やがて公園地のゲートを出ると、T字路に当たった。ランニング中の中年女性2人に道を聞き右折する。行けども行けども車道。山道に入りたいと思っていると交野ゴルフ場への入り口が見えてきた。(後で分かったことですが、ゴルフ場は交野山の頂上近くにあったようです。)そこで又道を聞き、交野山登山口の看板が。やっと山道だ~!。しばらく進むと赤い鳥居がある、荒神さんがおまつりしてある。無事をお祈りして登る。大きな岩がありはしごも2つある急坂。ちょっと楽しい。やがて目の前に大きな岩が2つ。それが頂上。観音岩でご神体とのこと。でもその上に大勢の人が登っている、私達も登らせてもらおう。すご~い!青空の下は京都市内から大阪平野まで360度の大パノラマ。。。すばらしい景色にしばらく全員うっとり。来て良かった~!と思う一瞬です。

景色を堪能して、少し下ったところで昼食です。

満足、満足!お腹もふくれて下山し始



めた途端、横にも道が。そして赤い鳥居も見えたので何があるのか見に行くと「え~!」「うそ~!」すぐ目の前に交野

ゴルフ場の駐車場とクラブハウスが。(今日は日曜、駐車場は車で満車です。)

私達は見なかったことにして引き返す。正規の道も見つかり、ず～～と山道をくると園地に向かって歩く。そこで又、又全員「あっ！！」ゲートの左側から帰ってきたのでした。

今回もやっぱり楽しい歩こう会でした。

Masayo

秋色の野原にテント村

ツアーガイド(11)

当番の案内から戻ってきたざわめく事務所のたまりで、私を呼ぶ声がした。顔なじみの仲間ともう一人メガネの女性が椅子に座って、こちらに視線をよせていた。一瞬、その女性がだれだったか検討がつかなかったが、ただ一人御所から参加しているメンバーの女性であることを知った。

噂で、彼女が来ていることを知っていたが、壁に張り出された日程表を何度もその名を探してみても見つからなかった女性であった。それだから、うちとけて遠慮なく話合った。自分に似たもう一人が遠い御所からやって来ている事に喜んだ。

この頃には、春日大社の行事の雅楽で太鼓たたきの松内さんから、「上手になった」と説明ぶりをほめられていた。

10月6日、御所小学校4年生の全員生徒が白帽子をかぶって、一斉にバスから降りて、やって来た。私は紫の天平衣装の貴族服を着て彼らが来るのを待ちかまえていた。孫の謙一郎ははじらって祖父を見ながら、それでもツーショットの写真を撮るのに応じて従ってくれた。

この頃、天皇・皇后両陛下がご臨席の下、盛大に祝典を催されるので、正殿前庭が大変な特設会場のセット組こみの工

事をして、混雑していた。

祝典は10月8日の午前で私達は休日となり、自宅のテレビでそのありさまを見た。東大寺、第一次大極殿、法華寺、春日大社、元明天皇陵、光仁天皇陵、唐招提寺、薬師寺、室生寺、長谷寺を御覧になり東京へとお帰りになられた。

10月11日の体育の日の祝日に沢山な観光客で、式典会場はイベント会場に早や変わりしてテント群から音楽が流れて来ていた。引率する20名の来訪者には、隣からの音楽に興味を散る模様でこまってしまった。

秋色せまる探訪ツアーガイドは、刻々と熟練者として腕にみがきをかけて、みんな自信ありげに見えた。短い期間と単純に思ったこのボランティアは、トンネルに入った列車が一向に出口の無い暗闇の中で右往左往をして来た感じでもあったけれど、しかし予想していたよりもより有意義で収穫と喜びを与えてくれた。

私はこの小社会にとび込んでいったことに、この機会をはずさなかつたことの自分自身に、自ら感謝を感じるようになっていた。何よりも沢山な自分に似た人柄の仲間と出会ったこと、そして親交を将



来へと温め合えること、この短い期間を通じて「助け合う」という新たな精神理念を植えつけられて、年老いた人生を、羽ばたく翼を繕って次に展開しようとしている。

若い時からなぜ山へ登るのかという素朴な質問は自問自答する材料として来た。ただあの山の自然を肌身で感じると無意識に自分が全身であえいで吐くあの息使いに、自分の目的に従う有様を感じる。そして次のいつかに喜び得るのだと、その足なみをおこ

たらない。

登山は登山口から出発してほとんどはその登山口へと帰る。人生は、目的とする高山の峰に達しても、その展望する峰から次の峰へと移り住み、再び元の登山口へと戻らない。そして、喜怒哀楽と、色々な場面に出会う。

年老いた私には、帰らない岐路から、老体を飼養とする新たな指針に向かって、自らに光明を見失わない人生を続けようとしている。

トーマス・マツムラ

私たち結婚しました

10月10日、細川家成ご夫妻のご媒酌により私たち結婚しました。

これからは心豊かな人生を歩いていけるよう、二人力を合わせていきます。

未熟な私たちに皆様のご指導をお願いします。



米田 豊高

運営委員会報告

10月22日通常の運営委員会が事務所で開かれ11名が出席しました。吉田代表世話人は「9月のセミナー、今月の維持員研修会、またモラロジエ講演会と連日ご苦労様でした。9月中日本センター細川成樹様、森村ご子息弟様、10月本部講座倉本佳洋様、川崎徹様、山田幸雄様、森村父親様が受講されました。10月の中日本センターは森村ご子息兄様が受講中です」と挨拶しました。

報告事項

1. 10月17日の維持員研修会は17名と参加人数が少なかった。不足金16,536円を事務所会計から出金します。

2. 10月21日第1回モラロジエ講演会につき、細川家成実行委員長は次のように報告、協力ありがとうございました。ご苦労様でした。連絡の不行き届きで打合せもできず反省しています。58名の申し込みで52名の参加。伊賀講師には電話で御礼を済ませました。次回は11月18日(木)田中正人講師(三重)で、参加目標を60名とします。講師への御礼、御車料、手土産及び食事代、茶菓子代の約3万円余は事務所会計から出金、参加者名簿の整理は受付係、会計は会計係で行うこと。佐藤物産の駐車場の御礼を検討。12月9日(木)から3泊4日の中日本センター講座の同行受講の案内は受講推進係が行い、申し込みは富士俊隆氏が一括して行ないます。

3. ビジネスクラブは10月21日(木)京都方面へ企業訪問に行ってきた。事務所から2名の参加で、大変よかった。

審議事項

1. 平成23年第15回生涯学習セミナー開催予定について、文部科学省の後援の申請のため、9月15日(木)～16日(金)(案)で申し込む。複数の会場、女性のみ開催の意見もあり。
2. 人権学習会開催について、12月4日(土)開催。講師及び内容は検討中。
3. 事務所会費(後期分)について、10月29日(金)までに領収書を作成し、11月中に各地区委員が徴収。11月29日(月)を期日とする。会員数は93名。(10月22日現在)その他
 1. 報恩、事務所費の納入状況、4月に被害に遭って以来、口数及び金額が少ない。抛出し易い方法を再検討する必要がある。(限定された日時、振込が面倒、投入式金庫の設置等)。4月被害分は、すべて吉田代表世話人が責任を取った旨報告あり。
 2. 御所市人権教育推進協議会研究大会が11月13日(土)大正小学校で開催され、5名の参加要請が来ています。参加希望者は代表世話人までご連絡ください。